

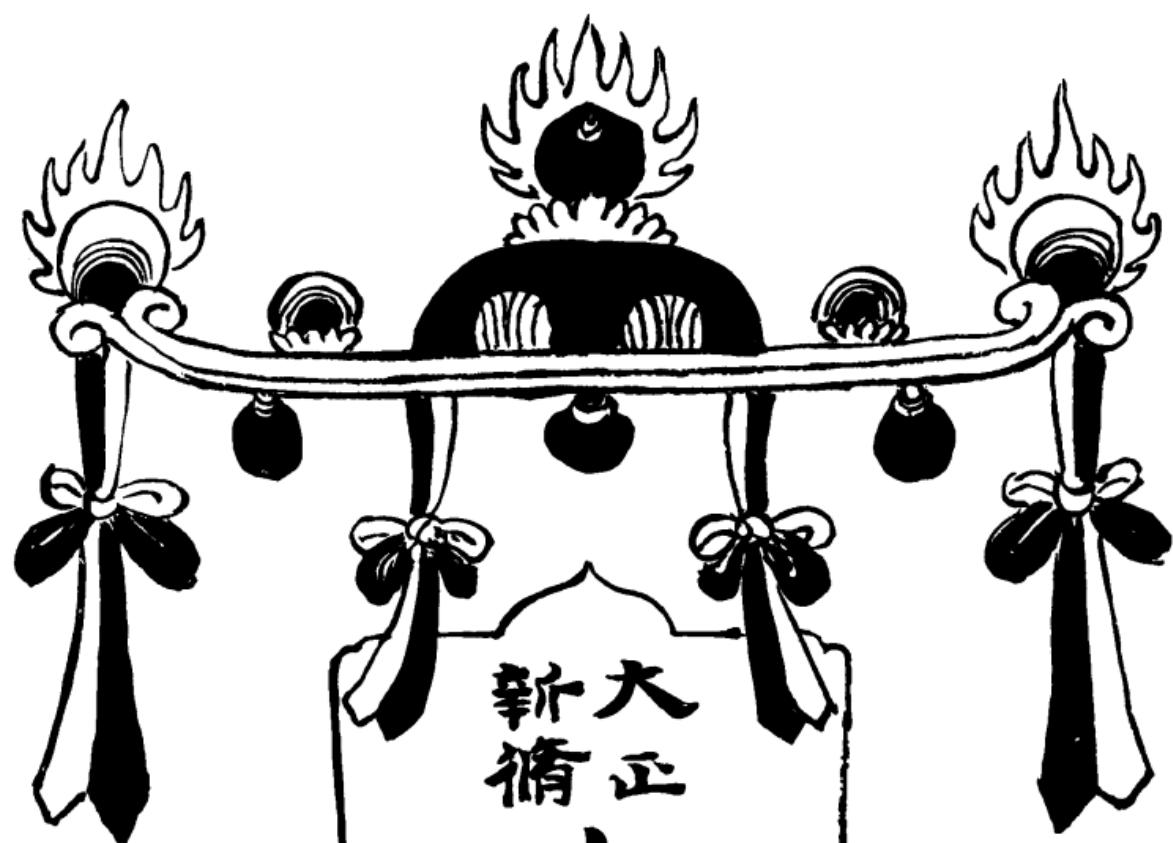
大

藏

經

釋淨室敬題





大正
新
大藏經
圖像



新
大藏經
圖像
PDG

目次

門 葉 記 (卷第九十一 第一百八十四)

京都青蓮院藏本

(第九〇)	勤行一	一
	山上山下諸堂院行事	一
(第九一)	勤行二	八
	大懺法院起請	八
	天台勸學講緣起	一三
	舍利報恩會記	一五
	新禮拜講記	一六
(第九二)	勤行三	一六
	修正會	一六
	修二月會	一八
	大成就院結緣灌頂	二三
(第九三)	勤行四	二五
	熾盛光堂長日勤行	二五
	懺法院長日勤行	二五
(第九四)	勤行五	三七
	每月五日曼荼羅供	三七
	十一月御忌日	三九
(第九五)	勤行六	四一
	報恩舍利講	四一
(第九六)	勤行七	五一
	五悔講次第	五一
(第九七)	勤行八 曼荼羅供	五七
	青蓮院行玄大僧正	五七
	慈鎮和尚	五九
	大原宮二品親王	六三
	市川宮慈助親王	六五
	青蓮院慈道親王	六六
(第九八)	勤行九(闕)	六六
(第九九)	勤行十(闕)	六六
(第一〇〇)	入室出家受戒記一	六七
	七宮覺快親王	六七
	慈鎮和尚	六七
	大峯法印良尋	六七
	西山宮道覺親王	六八
	北山僧正最守	六九
	無動寺慈源大僧正	七一
	淨土寺慈禪僧正	七三
	後妙香院慈實大僧正	七五
(第一〇一)	入室出家受戒記二	七六

wt143/06

市河宮慈助親王	七六
後青蓮院慈玄大僧正	八三
慈惠法印	八四
姉小路宮良助親王	八五
峯寺僧正慈深	八六
青龍院宮慈道親王	八七
淨戒院又云妙香院	八八
入室出家受戒記三	八九
大乘院宮尊圓親王	八九
土御門宮尊實親王亦云妙香院宮	九三
新宮尊道親王後青龍院宮	九五
尊道寺若宮	九七
後淨戒院慈濟若公	九八
後大乘院宮道圓親王若宮	一〇〇
本覺院聖助親王	一〇三
尊滿大僧都若后	一〇五
入室出家受戒記補一	一〇五
後十樂院准后	一〇五
不遠院宮尊一親王	一〇六
二宮	一〇七
尊證親王	一〇七
尊祐親王	一〇八
入室出家受戒記補二	一〇九
御出家儀	一〇九
出家作法	一〇九
定法寺僧正	一一〇
東久世三品	一一一
豐前彥山座主	一一一
入室出家受戒記補三	一一二

八幡善法寺息重清	一二二
八幡善法寺小生見清	一二三
八幡善法寺享清眞弟兄	一二五
八幡善法寺息英清	一二六
入室出家受戒記補四	一二七
後大乘院宮道圓親王	一二七
普光院准后義圓	一二八
入室出家受戒記補五	一二八
受戒略次第	一二八
入室出家受戒記補六	一二五
受戒次第	一二五
入室出家受戒記補七	一二九
出家作法	一二九
授菩薩戒極略	一三〇
入室出家受戒記補八	一三三
授戒菩薩戒儀	一三三
入室出家受戒記補九	一三五
菩薩羯磨戒文	一三五
入室出家受戒記補十	一三六
十善戒略作法	一三六
八齋戒略作法	一三六
入室出家受戒記補十一	一三七
戒集	一三七
入室出家受戒記補十二	一四三
自誓戒	一四三
授戒	一四七
法會一	一四九
大乘布薩	一四九
法會二之一	一五二

(第一〇五)

(第一〇四)

(第一〇三)

(第一〇二)

(第一一六)

(第一一五)

(第一一四)

(第一一三)

(第一一二)

(第一一一)

(第一一〇)

(第一〇九)

(第一〇八)

(第一〇七)

(第一〇六)

(第一二七) 北野社法花堂供養曼荼羅供……………一五四
法會二之二……………一五五

(第一二八) 勸曼日記……………一五五
法會二之三〔關〕……………一五六

(第一二九) 法會二之四……………一五六
東寺曼荼羅供次第……………一五六

(第一三〇) 勸學曼荼羅供見聞抄……………一六〇
曼荼羅供之事古實等……………一六六
法會三……………一六八
御經供養……………一六八

(第一三一) 後水尾院十三回聖忌……………一七〇

(第一三二) 灌頂一……………一七六
七宮覺快親王……………一七六

(第一三三) 慈鎮和尚……………一七六
灌頂二……………一七六

(第一三四) 飯室良快大僧正……………一八〇
西山宮道覺親王……………一八一

(第一三五) 無動寺慈源大僧正青水……………一八五
淨土寺慈禪僧正……………一八七

(第一三六) 大原宮尊助親王……………一八七
灌頂三……………一八八

(第一三七) 十樂院准后……………一八八
後妙香院慈實大僧正……………一九〇

(第一三八) 後青蓮院慈玄大僧正……………一九三
峰寺慈深僧正……………一九四

(第一三九) 大乘院宮入道親王……………一九七
灌頂四……………二〇〇

(第一四〇) 後青龍院宮尊道親王……………二〇〇
灌頂五……………二一〇

(第一二六) 結緣灌頂……………二二〇
灌頂六……………二二七

(第一二七) 結緣灌頂……………二二七
灌頂七……………二三〇

(第一二八) 一身阿闍梨……………二三〇
門主行狀一……………二三五

(第一二九) 青蓮院行玄大僧正……………二三五
七宮覺快親王……………二三八

(第一三〇) 慈鎮和尚……………二三九
無動寺慈源大僧正……………二四七

(第一三一) 西山宮道覺親王……………二四九
北山僧正最守……………二五〇

(第一三二) 門主行狀二……………二五一
大原宮尊助親王……………二五一

(第一三三) 淨土寺僧正慈禪……………二五四
十樂院准后道玄……………二五五

(第一三四) 後妙香院僧正慈實……………二五九
市川宮慈助親王……………二六〇

(第一三五) 後青蓮院僧正慈玄……………二六一
妨小路宮良助親王常壽院宮……………二六二

(第一三六) 峰寺僧正慈深……………二六三
門主行狀三……………二六三

(第一三七) 青龍院宮慈道親王……………二六三
大乘院宮尊圓親王……………二六七

(第一三八) 後青龍院宮尊道親王……………二七三
寺院一……………二七七

(第一三九) 山上洛陽寺院指圖……………二七七
寺院二……………二八〇

(第一三三)	寺院三(關).....	三二
(第一三四)	寺院四.....	三二
(第一三五)	洛陽邊鄙本坊來由.....	三二
	勤記一.....	三四
	大成就院修正記.....	三四
	懺法院修二月記.....	三八
(第一三六)	勤記二.....	三九
	大成就院灌頂記.....	三九
(第一三七)	勤記三.....	三五
	大成就院灌頂記.....	三五
(第一三八)	勤記四.....	三五
	青蓮院御忌日執事并僧名.....	三五
(第一三九)	勤記五.....	三六
	報恩舍利講.....	三六
	熾盛光堂不斷供花次第.....	三六
	成菩提講.....	三六
	雙林寺御忌日、記.....	三七
(第一四〇)	雜決一.....	三六
	寺領目錄.....	三六
(第一四一)	雜決二.....	三七
	御門跡領總目錄.....	三七
(第一四二)	雜決三.....	三七
	門跡系圖.....	三七
(第一四三)	雜決四.....	三八
	姉小路宮初度院參并正應三年曼荼羅	
	供導師行粧等記.....	三八
(第一四四)	雜決補一.....	三八
	御出次第.....	三八
(第一四五)	雜決補二.....	三七

(第一四六)	口宣、宣命、宣旨案.....	三八七
	雜決補三.....	三九二
	法性寺座主次第.....	三九二
	日吉社別當次第.....	三九三
(第一四七)	雜決補四.....	三九三
	崇德院御影堂并門主讓狀等記.....	三九三
(第一四八)	雜決補五.....	三九五
	長吏拜堂.....	三九五
(第一四九)	雜決補六.....	四〇三
	雜決.....	四〇三
(第一五〇)	雜決補七.....	四〇六
	雜決聞書.....	四〇六
(第一五一)	雜決補八.....	四〇六
	探題記.....	四〇六
(第一五二)	雜決補九.....	四〇六
	無動寺檢校次第.....	四〇六
	三昧院檢校次第.....	四〇六
(第一五三)	勤行法一.....	四〇六
	大法小法事.....	四〇六
(第一五四)	勤行法二.....	四〇六
	御修法條.....	四〇六
(第一五五)	勤行法三.....	四〇六
	文殊法.....	四〇六
(第一五六)	勤行法四.....	四〇六
	諸尊別法.....	四〇六
(第一五七)	勤行法五.....	四〇六
	金輪法.....	四〇六
(第一五八)	勤行法六.....	四〇六
	六字河臨法.....	四〇六

(第一五九) 勤行法七……………四六九

除日歲末御修法……………四六九

(第一六〇) 勤行法八……………四八七

民間病患御祈……………四八七

(第一六一) 勤行法九……………四九〇

水天供……………四九〇

(第一六二) 勤行法補一之一……………五〇五

北斗法一……………五〇五

(第一六三) 勤行法補一之二……………五一七

北斗法二……………五一七

(第一六四) 勤行法補一之三……………五二七

北斗法三〔闕〕……………五二七

(第一六五) 勤行法補一之四……………五二七

北斗法四……………五二七

(第一六六) 勤行法補一之五……………五三七

北斗法五〔略〕……………五三七

(第一六七) 勤行法補二……………五三七

四天王法……………五三七

(第一六八) 勤行法補三……………五四六

五大尊合行……………五四六

(第一六九) 勤行法補四……………五五一

六觀音合行……………五五一

(第一七〇) 勤行法補五之一……………五五四

地藏開眼……………五五四

(第一七一) 勤行法補五之二……………五七二

修法護摩供等用心……………五七二

(第一七二) 勤行法補六……………五七六

不動護摩……………五七六

御產御祈目錄……………五七六

(第一七三) 山務一……………五九四

青蓮院行玄大僧正……………五九四

七宮覺快親王……………五九四

慈鎮和尚……………五九六

飯室良快大僧正……………六〇〇

無動寺慈源大僧正……………六〇四

西山宮道覺親王……………六〇八

(第一七四) 山務二……………六一三

大原宮尊助親王……………六一三

淨土寺慈禪僧正……………六一八

十樂院准后……………六一九

(第一七五) 山務三……………六二一

後妙香院慈實大僧正……………六二一

市川宮慈助親王……………六二三

大原宮尊助親王……………六二四

常壽院宮良助親王……………六二四

青龍院宮慈道親王……………六二四

(第一七六) 山務四……………六二七

大乘院宮入道親王……………六二七

雙林寺座主全玄……………六三三

城隍寺眞性僧正……………六三三

仰木寂場房公圓僧正……………六三五

康樂寺慈賢僧正……………六三五

般若院公什僧正……………六三六

(第一七七) 山務五……………六三八

岡崎桓守……………六三八

(第一七八) 山務六……………六三八

後大乘院宮道圓親王……………六三八

拜堂祕記……………六四七

(第一七九) 山務七(略).....六五六

(第一八〇) 山務補一.....六五六

應永二十七年御山務中記.....六五六

(第一八一) 山務補二.....六六〇

小袖公事.....六六〇

(第一八二) 山務補三.....六六二

(第一八三) 御登山次第.....六六二

山務補四.....六六五

歷代貫主登山行粧.....六六五

(第一八四) 山務補五.....六六八

歷代座主御拜堂事.....六六八

門葉記本紙卷數
模本冊數目錄.....六八二

胎藏界曼荼羅.....(別刷附錄)

金剛界曼荼羅.....(別刷附錄)

大悲胎藏漫荼羅尊位并梵號漢號密號種子 亦名胎藏圖曼荼羅抄(一卷).....六九三

滋賀石山寺藏本

胎藏界曼荼羅圖(一卷) 天養二年寫.....七三三

東京岩崎文庫藏本

智曼荼羅圖(一卷).....七四七

滋賀石山寺藏本

種子曼荼羅集(一卷) 承安二年寫.....七六九

滋賀石山寺藏本

佛菩薩等圖像(諸本抄出次第不同).....八三〇

京都東寺觀智院藏本

諸尊圖像集(二卷).....八三三

神奈川金澤文庫藏本

釋迦像 常禪房兼西樣(一紙).....九三六—九三七(別紙一)

滋賀石山寺藏本

藥師八大菩薩像（一紙）……………九三六—九三七（別紙二）

奈良中村雅真氏藏本

優曇鉢羅花殊勝王佛（一幅）……………九三六—九三七（別紙三）

兵庫武藤金太氏藏本

大日金輪（一幅）……………九三六—九三七（別紙四）

兵庫武藤金太氏藏本

金輪曼荼羅（一紙）……………九三六—九三七（別紙五）

滋賀石山寺藏本

五方諸尊圖（心覺本ノ内）……………九三七

京都東寺觀智院藏本

仁王經五方曼荼羅（五紙）……………九四一

京都教王護國寺藏本

五大力（五幅）……………九四七

高野山普賢院藏本

仁王經敷曼荼羅（一紙）……………九五二—九五三（別紙六）

滋賀石山寺藏本

仁王壇樣（一紙）……………九五二—九五三（別紙七）

滋賀石山寺藏本

仁王曼荼羅 (一紙) 九五二—九五三 (別紙八)

滋賀石山寺藏本

仁王曼荼羅 (一紙) 九五二—九五三 (別紙九)

滋賀石山寺藏本

仁王曼荼羅 (一紙) 九五二—九五三 (別紙一〇)

滋賀石山寺藏本

五忍曼荼羅 (一紙) 九五二—九五三 (別紙一一)

滋賀石山寺藏本

唐本理趣經曼荼羅 (一卷) 唐咸通五年寫 九五三

滋賀石山寺藏本

理趣經曼荼羅十八幀 (一卷) 九七三

東京岩崎文庫藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一二)

兵庫武藤金太氏藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一三)

兵庫武藤金太氏藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一四)

兵庫武藤金太氏藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一五)

兵庫武藤金太氏藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一六)

兵庫武藤金太氏藏本

請雨經曼荼羅 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一七)

兵庫武藤金太氏藏本

大孔雀明王像 (一紙) 九九六—九九七 (別紙一八)

東京安田善次郎氏藏本

諸觀音圖像 (一卷) 九九七

京都田中忠三郎氏藏本

胎藏六觀音灌頂 (一紙) 一〇四六—一〇四七 (別紙一九)

兵庫武藤金太氏藏本

十一面觀音諸像 類祕抄十一面ノ卷ヨリ抄出
承久二年定其寫 一〇四七

京都田中忠三郎氏藏本

聖觀音像 (一幅) 一〇五六—一〇五七 (別紙二〇)

兵庫武藤金太氏藏本

不空罽索觀音像 (一幅) 一〇五六—一〇五七 (別紙二一)

兵庫武藤金太氏藏本

文殊菩薩像 (一紙) 一〇五六—一〇五七 (別紙二二)

東京美術學校藏本

文殊菩薩像 (一紙) 1056—1057 (別紙二三)

兵庫武藤金太氏藏本

普賢延命像 (一幅) 1056—1057 (別紙二四)

兵庫武藤金太氏藏本

馬鳴菩薩像 1056—1057 (別紙二五)

行林抄ノ内
建久二年寫

滋賀石山寺藏本

不動儀軌 (一卷) 寛元三年兼胤寫 1057

京都田中忠三郎氏藏本

不動三尊像 附部分圖 (一紙) 玄朝様定智筆 1108—1109 (別紙二六、二七)

滋賀石山寺藏本

不動三尊像 附部分圖 (一紙) 1108—1109 (別紙二八、二九)

滋賀石山寺藏本

不動三尊像 (一紙) 1108—1109 (別紙三〇)

東京美術學校藏本

不動明王像 (一紙) 1108—1109 (別紙三一)

東京美術學校藏本

不動明王像 (一紙) 1108—1109 (別紙三二)

兵庫武藤金太氏藏本

制吒迦童子像 (一紙) 1108—1109 (別紙三三)

兵庫武藤金太氏藏本

降三世明王像集 (一卷) 1109

東京美術學校藏本

毘沙門明王像 (一紙) 1110—1111 (別紙三四)

兵庫武藤金太氏藏本

大心要形像 (愛染明王) (一紙) 1110—1111 (別紙三五)
(偽形也今不用之)

兵庫武藤金太氏藏本

厄神明王像 (愛染不動合體) (一紙) 1110—1111 (別紙三六)

兵庫武藤金太氏藏本

三面愛染明王曼荼羅 (一紙) 1110—1111 (別紙三七)

兵庫武藤金太氏藏本

太元明王像 1110—1111 (別紙三八)

東京美術學校藏本

太元明王像 (二像合一紙) 1110—1111 (別紙三九)

東京美術學校藏本

雙身毘沙門天像 (一紙) 1110—1111 (別紙四〇)

兵庫武藤金太氏藏本

帝釋天像 (一紙) 1110—1111 (別紙四一)

兵庫武藤金太氏藏本

焰摩天曼荼羅 (一幅)	1130—1131 (別紙四二)
東京男爵益田孝氏藏本	
清瀧權現像 (一幅)	1130—1131 (別紙四三)
兵庫武藤金太氏藏本	
十界曼荼羅 (一紙)	1130—1131 (別紙四四)
東京美術學校藏本	
佛足跡圖 (一紙)	1130—1131 (別紙四五)
京都東寺觀智院藏本	
佛足跡圖 (一紙)	1130—1131 (別紙四六)
東京丹治竹次郎氏藏本	
阿字 (一紙)	1130—1131 (別紙四七)
東京美術學校藏本	
道場觀想圖 (一紙)	1130—1131 (別紙四八)
東京丹治竹次郎氏藏本	
行者觀行曼荼羅 (法華法?) (一紙)	1130—1131 (別紙四九)
兵庫武藤金太氏藏本	
法身三密觀圖 (一卷)	1131—1132
滋賀石山寺藏本	
印佛塔法造功德釋迦諸傳 (一卷)	1132—1133

畫像要集（一卷）……

京都高山寺藏本

京都東寺觀智院藏本

二四九

門葉記

勤行一

無動寺行事

不動堂行事

南山坊行事

橫川行事

常行堂行事

法華堂行事

四季講堂行事

眞言堂

日吉新御塔

十禪師禮拜講

夏堂坂本

百光院在雙林寺內

法華院

常壽院在西坂本小野

蓮花壽院 本在水無瀨殿後移西山

大成就院 自川本坊後移十樂院

大懺法院 後移十樂院

受用彌陀院後移十樂院

御影堂在十樂院

十禪師社

本坊行事

青蓮院門跡者受慈覺大師之正嫡爲顯密佛法之棟梁慈鎮和尚去貞應之比被注進關東之狀云天下佛法者在山門山門佛法者在當門跡云然間

所修之慧業薰修不知幾千萬端所施之供料員數假令三千餘石歟和尚遣書云勤行之間佛聖燈油供佛施僧之用途顯密修學住持佛法之衣鉢全不奏請田園之地利於公家唯支配寺領之餘剩於私房云而建長以來至于元弘門跡連々轉變之刻寺領非分之牢籠多之況又近年天下動亂之後諸國軍勢押領所領等大略違亂適所務之地乃貢又減少隨而所定置之勤行廢怠末世澆季之習其恨不限一門歟而今掌門跡一統之管領幸逢天下再興之時節專任和尚之曩意欲勵佛法之紹隆仍且任舊記且付現修粗令甄錄其行事而已

山上

叡山無動寺 東塔南谷內也
大乘院 寬慶座主本坊慈鎮和尚之
長日懺法院時建立小堂爲御祈願所

佛聖燈油近江國志賀南庄役

每年正月十八日修正東常行堂僧參行之

十月朔日勸學講始行七箇日

結衆六十人 東塔三十人西塔二十人
人師四十人 東塔二十人西塔二十人

已上僧名百口一山之中清撰碩才

補之

勤行次第

先達四十人

隔日二十人參會講場

講衆六十人 每日十人參勤講問講師一
人問者五人番論議二雙

供料

先達四十人 人別十五石合六百石

講衆六十人 人別五石合三百石

大學頭一人 百石

布施

絹百十匹 綿千五百兩

曼茶羅供 勸學講結日修之

導師一人 讚衆六口

三塔密宗學徒之中撰器用請之

布施

人別絹一匹 吳綿十兩

合絹七匹 綿七十兩

已上布施并講米越前國藤島庄役

慈鎮和尚製作緣起云

勸學講者小僧慈圓治山之間所始置也

去建久四五年之比中心思惟云重生輕

法者末代也不播衣鉢之支誰能習學佛

法耽財貪寶者當機也若無田園之貯人

豈止住當山哉此謂又不違聖教所以者

何佛陀皆受供養以利衆生亦因檀

度以入佛道是佛教之常途也末法之正

道也思慮如此何爲其財于時右大將軍

源朝臣賴朝威勢滿一天守王法崇佛法

仍將軍住洛之比談議受用越前國藤島

庄支配其用途訖是全非小僧之力偏爲

山王之助者也則以建久六七兩年遂輻

百口學徒始開七日之講肆已上略抄

不動堂

清和天皇御願相應和尚草創也建久
右將軍與慈鎮和尚芳契尤符合歟

長日勤事

行法一座佛供近江國伊香立庄役燈明支配寺領

大般若經轉讀供料福林寺分田也

供花供米藤島庄役

供僧六人供米六十石藤嶋庄役

每月勤事

不動眞言一洛又遍

供僧等於內陣勤之供米平泉寺馬上免六町役

每年勤事

修正自朔日始之二十七箇夜

其法則如修法道儀嚴重也

壇供伊香立庄并坂本志賀穴太等役也

修二月始自朔日七箇夜修之

法式大略如修正

布施檢校以下僧綱等役

建立大師御忌日十一月三日

曼陀羅供導師一人讀衆二人

御影供導師一人齋文師一人講衆七人

佛名自十二月十三日三箇日夜修之

導師三人請僧十八人

已上三箇佛事檢校已下門徒之所

役也但頭人闕如之時者因幡國樂

師寺所濟配之

大仁王會春季行之

一寺僧侶群集行之

會料坂本大和庄役

小六月會

傳教大師御忌日也六月四日

蓮花會六月十八日

會料寶石寺役

安居

始自四月十五日至七月十五日汲

五更之花水備一夏之闕伽矣

夏衆十二人擬衆三人

供料百七十二石藤嶋庄役

相應和尚昔於根本中堂修安居行法

慈覺大師感其信心堅固被授不動法

和尚以件行法移當寺以來星霜久積

而去建仁之比行學相諍佛法欲滅之

刻以當堂爲戰場慈鎮和尚獨入內陣

修此行法繼佛法之慧命以今供料限

永代所被宛置也

南山坊相應和尚御住坊也

供僧三人

長日勤事

三部長講法花已王自建長七年始修之

每月勤事

建立大師講三日

傳教大師講四日

山王講十六日

已上結衆七人先達九人

此講緣起者慶命座主之時比叡祭之日

凝信心奉法施之間山王神輿影現當房

之中自爾以降行來尚矣

已上三講用途配分寺領

每年勤事

季護摩春秋各七箇日

供僧等勤之

供料伊香立志賀穴太等役

天台大師講十一月二日住侶巡役也

天台大師供僧綱巡役也

寺中巡役事

客人宮二季彼岸講

當社神殿始安置之時人稱白山權現

之降臨爰慶命座主疑此事請靈告之

處六月炎天俄白雪降座主拜感新建

寶殿永命門葉令始行此彼岸當寺管

領濫觴如此矣

同社禮拜講移大宮禮拜講之法則所始修也

慈惠大師講

毘沙門講

阿彌陀講

地藏講

右講等住侶面々勤之

橫川

楞嚴三昧院九條右丞相御願

供僧十人慈惠大師草創也

長日勤事

諸大乘經轉讀諸尊祕密神呪勤行尤甚

深也

供料人別九石近江國神崎東保庄

每年勤事

修正勤行甚嚴重也

四季衆集

度者三人每年賜之